

市の業務における車移動の分析

新庁舎整備場所の検討に当たり、現在地から庁舎が移転することによって、市の業務における車移動にどのような影響を及ぼすのか分析を行いましたので、報告します。

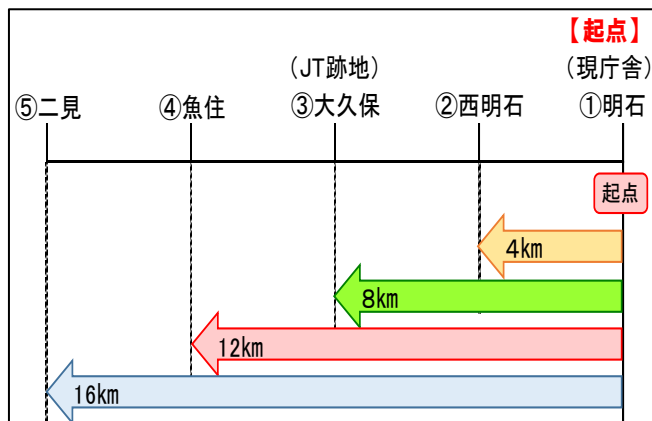
(1) 分析方法

- ・市が集中管理している公用車 46 台の内、4 台分（全体の約 8.7%）について、平成 29 年度（1 年間）の入出庫状況（行き先、走行距離）を整理。
- ・行き先について、①明石、②西明石、③大久保、④魚住、⑤二見、⑥市外・その他（不明分含む）の 6 地域に分類後、下記条件に当てはめて庁舎移転に伴う移動距離の変化を分析。

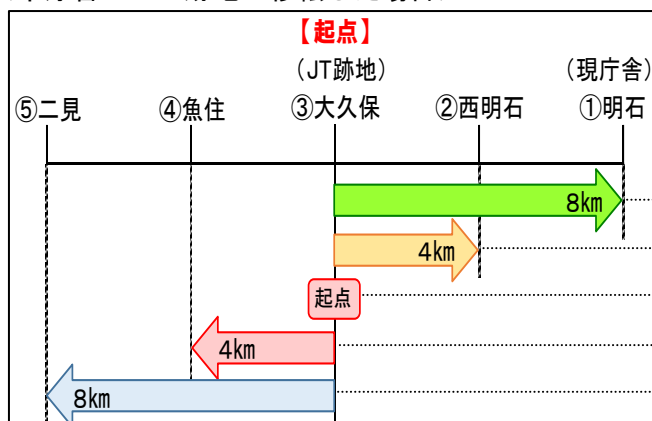
(2) 分析条件

- ・明石市の市域は東西約 16 km であるため、上記①～⑤の各区間の距離を 4 km とする。
- ・市庁舎（市役所機能）がすべて J T 跡地に移転したとして、移動距離の変化を計算する。ただし、⑥市外、その他（不明分含む）への移動については、増減なしとする。

<現状>



<市庁舎が J T 跡地へ移転した場合>



- ・明石への移動：往復で 16 km 増加
- ・西明石への移動：増減なし
- ・大久保への移動：往復で 16 km 減少
- ・魚住への移動：往復で 16 km 減少
- ・二見への移動：往復で 16 km 減少

(3) 分析結果

①平成 29 年度（1 年間）の入出庫状況（4 台分）

- ・件数：計 1,724 件（1 台あたり 約 430 件）
- ・走行距離：計 35,091 km（1 台あたり 約 8,800 km）

②移動距離等の変化

	平成 29 年度 件数 (件)	平成 29 年度 走行距離 (km)	JT 跡地を起点と した場合の移動 距離の増減 (km)	30 km/h の走行で 移動時間を計算 した場合の増減 (時間)
①明石	289	2,267	4,624	154.13
②西明石	350	3,793	0	0
③大久保	407	8,750	▲ 6,512	▲ 217.07
④魚住	131	3,909	▲ 2,096	▲ 69.87
⑤二見	107	3,681	▲ 1,712	▲ 57.07
⑥市外、 その他	440	12,691	0	0
合計	1,724	35,091	▲ 5,696	▲ 189.87

平成 29 年度（1 年間）の入出庫状況について、JT 跡地を起点とした場合の移動距離を計算すると、現在地と比較し、約 16%減少するという結果となった。

これを公用車 46 台分に換算すると、移動距離は 65,504 km 減少する。（※燃料費の削減）
また、移動の際、30 km/h で走行したと仮定すると、移動時間は 2,184 時間の減少となる。
（※人件費(時間外手当)の削減）